

# 新たな制服にデニム採用

## 「動きやすくてかつこ良い」社員から評判

メンテックワールド

生産設備メンテナンスとダクト製造販売を主に手がけるメンテックワールド(本社・東広島市八本松飯田、小松節子社長)は、11月からデニム生地を使った新たな制服を採用している。社員からは「オシャレでカッコ良い。伸縮性があつて動きやすい」と評判だ。

広島県のデニムメーカートップ企業の福山市のカイハラに製造を依頼。男女とも夏用と冬用があり、ジャンパーとカーゴパンツを揃える。ジャンパーは、ストライプ生地を胸ポケット、フロントなどに使用し、インパクト感とかわいらしさを演出。両胸ポケットは二重にして収納力をアップし、ポケットに入れたモノが落ちにくい、逆玉ぶち仕様になっている。カーゴパンツも左ポケットの覆いにストライ

プ生地を使いカジュアル感を演出。右カーゴポケットは、ファスナータイプのインナーポケットですっきり感を出している。

生地は軽量でストレッチ性があり、着用時のストレスを軽減。夏ジャンパーは、薄地のシャンブレ素材を使用した。

同社では、現場はデニムで統一。管理本部の社



メンテックワールドが採用した制服。左が冬用、右が夏用



▲地元の仕事と制服がわかるお仕事図

員は、デニムとスーツを併用する。小松社長は「新たな制服で社員のモチベーション向上と団結力を図り、対外的な企業PRにも役立てたい」と話している。(日川)